

らいてうの家 通信 24号

...平和・協同・自然のひろば...

2012.4.1

らいてうの家

〒386-2201 長野県上田市真田町 長十の原1278

TEL/FAX 0268 74 1385

NPO 平塚らいてうの会

〒112-0002 東京都文京区小石川5 10 20 5F

TEL/FAX 03 3818 8626

2012年

4月28日(土)オープン

4月28日 オープニングコーラス・お茶会

11:00 ~ コーラス ねむの木会(30人ほど)

ねむの木の子守歌、童神(わらびがみ 天の子守歌・手話)、白い雲、銀色の道
みんなで一緒にうたいましょう

12:00 ~ お茶会(お茶券 300円)

4月28日~5月7日まで連休中はオープンしています。どうぞお出かけください。

「らいてうの家」イベント

6月 3日(日) 森のめぐみ講座 あずまや高原 山野草の集い(別紙チラシ参照)

10時 ~ 12時 「家」周辺に自生する植物の観察・名札付け・食べられる山菜の採集など

12時 ~ 13時 昼食(おにぎり持参)、山野草のてんぷらを揚げて味わう

13時半~15時 高原散策(ガイド同行)

6月16日(土) 第1回 らいてう講座(講師 米田佐代子館長)

13時半~15時(その後希望者は自由懇談)..... 裏面参照

——— 今年学びをみらせる年に

関東大震災から89年 そのとき母親らいてうが考えたこと ———

「『青鞥』創刊百周年」を記念して、来館のみなさんにメッセージを書かせていただきました。

ホールのウィッシュツリーにあるメッセージの一部をご紹介します。

- ・らいてうの家 木の香りがすてきな たたずまいでした。
- ・らいてうの「無限創生」という言葉、東日本大震災の後だけにより一層心にしみる。
- ・いのちを守る行動あり らいてうは太陽。
- ・女性運動も平和運動も世代間のつながりが大切だと思います。
- ・太陽であることはたいへんなことです。でも、いつも前を向いていたい。
- ・「自分が直接感じたものが尊い」 いろんな考え、意見あるけれど、自分で考え、責任もって行動する。そうありがたい。
- ・涼しげで良い雰囲気、いろいろ勉強させていただきました。日本の歴史に出てくる女の人は少ないけれど、こんな偉大な人がいたんですね。
- ・生きることは行動すること、私もころざそう 生きるかぎり。
- ・三度目の来館ですが、何回来ててもすごいなあと考えさせられます。維持していくには大変と思いますが、いつまでも残してほしいです。
- ・未来の女性を見ずえての運動に感動。 ・風が気持ちよかった。



2011年11月の大掃除と反省会から

毎年最後の開館日の翌日、上田・真田・東京近辺・それに大阪からも！開館当番をしていただいたみなさんが集まって大掃除と反省会をします。床やテーブルなどを水洗いし、蜜蝋ワックスをかけ、外の板壁手すり等にはペンキを塗ります。地元のみなさんの持ち寄り昼食の後は反省会。

「青鞥百年」については、今年はマスコミが大きく取り上げてくれ、記事の内容も非常に良かった。東京でのシンポジウムも成功し、12月には文京区でも展示会も行う。これを機会にらいてうの勉強を深めたい。

大きなイベントは大いに宣伝になるので必要であり、経営的にも役割は大きい。助成金については、地域の活性化を目的としているので、その視点から考える必要がある。

上田駅から観光バスで、上田めぐり、真田めぐり、などの街めぐりツアーを企画してはどうか。

らいてうの会は高齢化しているので、今後を考えると是非、若い人に会員になってもらいたい。お当番を手伝ってくれる人も欲しいなどなど。参加のみなさまお疲れさまでした。



「夏の雲は忘れない」 上田平和音楽祭

7月29日(日) 上田文化会館ホール

開演 13:30~16:00

チケット 大人 1,800円 小中学生 500円

出演者 長内美那子 柳川慶子 高田敏江 渡辺美佐子 山口果林 大橋芳枝

平和音楽祭特別合唱団 しなの子どもの幸せと平和を願う合唱団

(昨年「『青鞥』創刊百周年祝祭」に出演してくださったご縁です、成功に是非ご協力を！)

第1回 らいてう講座

日時 2012年6月16日(土) 13時半~15時(その後希望者は自由懇談)

参加費 300円(らいてうの家を見学する方は、別に500円程度の「維持寄付」をお願いします)

東日本(北信栄村も!)大震災と福島原発事故がわたしたちに問いかけたものは何か
関東大震災に出会ったららいてうが考えた「女たちの協同」とは?「今らいてうさんがいたら、何というかしら?」と「架空対談」してみませんか?

第2回 「宮沢賢治も丸岡秀子も登場する日本の協同組合の歴史」

第3回 「母性主義・平和主義・協同主義の流れをさぐる」

も予定しています。今年は東京でも「家」でも連続開催します!

「元始、メスネコは太陽であった」!?

らいてうの家にも事前学習に見えた源川瑠々子さんが、この3月に三越劇場で、「ひとり文芸ミュージカル『三毛子』」を公演、奇想天外!でした。夏目漱石の『吾輩は猫である』を下敷きに、「吾輩」がひそかに恋する薄命の雌猫「三毛子」がヒロイン。『青足袋』なる雑誌をひろげて「元始、雌猫は太陽であった」と読み上げるかと思えば、母性保護論争を論じて「子どもには人権というものがあります!」とさげんだり。はなやかな着物姿の観客も抱腹絶倒。歌あり踊りあり、

はじめから死ぬとわかっている三毛子がせいっぱい演じる愛らしさに、思わずじん、ときてしまった...。(米田佐代子記)

あずまや高原や周辺の山々の茶色っぽいカラマツは、4月中旬になると芽吹きが日ごとに変化し、薄い緑から少し深い色になり、若々しい緑につつまれていきます。日ごとに変化する新緑の「家」周辺の美しさも観賞していただきたいです...

NPO法人 平塚らいてうの会

東京都文京区小石川5-10-20 5F TEL・FAX 03-3818-8626

ゆうちょ銀行 口座 00150-9-553046 NPO 平塚らいてうの会